

茨城縣報

号外 (二)

告 示

茨城縣告示第七百七十八号

健康保險法 (大正十一年法律第七十号) 第四十三條の三船員保險法 (昭和十四年法律第七十三号) 第二十八條の三並びに健康保險船員保險及び保險藥劑師の指定に関する件 (昭和二十三年厚生省令第三十二号) の規定により次の医師及び齒科醫師を保險医として指定した。

昭和二十七年九月二十九日

茨城縣知事 友 末 洋 治

指定年月日	診療科名	診療所々在地	診療所名	氏 名
昭和二十七年九月二十九日	齒科	那珂郡平磯町南町一三四番地	山本齒科医院	山本 一郎
〃	內科、兒科、外科	眞壁郡長讀村大字源法寺六番	塚田 医院	近藤 宏英
〃	內科	筑波郡北条町大字北条五、〇三番地	北条地方 国保病院	浦部 嘉夫
〃	內科	〃	〃	徳弘 英生

茨城縣告示第七百七十九号

病院医の診療所々在地が左のとおり異動した旨、届出があつたから健康保險及び船員保險の保險医及び保險藥劑師の指定に関する件 (昭和二十三年七月厚生省令第三十二号) 第六條の規定によりこれを告示する。

昭和二十七年九月二十九日

茨城縣知事 友 末 洋 治

異動年月日	旧診療所々在地	新診療所々在地	診療科名	氏 名
昭和二十七年九月二十九日	筑波郡北条町大字北条五、〇三番地	千葉市猪鼻町	內科	野上 良介

茨城縣告示第七百八十号

左のとおり保健婦名簿に登録をした。

昭和二十七年九月二十九日

茨城縣知事 友 末 洋 治

免許番号	種 別	交 付 年月日	住 所	氏 名	生年月日
一、六	保健婦	昭和二十七年九月二十九日	西茨城郡笠間町石井	阿部 フク	大正五、二、四

茨城縣告示第七百八十二号

昭和二十七年九月二十九日新治郡藤沢村に事務所をおく藤沢村土地改良区の設立を認可した。

昭和二十七年九月二十九日

茨城縣知事 友 末 洋 治

茨城縣告示第七百八十二号

新治郡藤沢村土地改良区から左記の者が設立當時の役員 (理事) である旨届出があつたから土地改良法第十八條第十項の規定によつて公告する。

昭和二十七年九月二十九日

茨城縣知事 友 末 洋 治

住 所	氏 名	摘 要
新治郡藤沢村大字藤沢一、九六	小林 孝雄	理事長
〃	伊能 彌一郎	理事
〃	大沢 守之助	〃

—

雑報

行旅死亡人周知方

左記各県から行旅死亡人周知方依頼があつたので心当りの向はそれぞれ当該取扱市町村長あて直接照会されたい。

昭和二十七年九月二十九日

茨城県民生部長

記

一 本籍、住所、氏名
横浜市保土ヶ谷区長取扱

一 不詳

一 性 別

一 男性、推定七ヶ月の胎児

一 出生の時

一 不詳

一 死 因

一 死 産

一 発見場所

一 横浜市保土ヶ谷区狩場町二四一、井上義松方肥溜中

一 死亡場所

一 不詳

一 検視の時

一 昭和二十七年三月十三日午後五時

一 発見年月日

一 昭和二十七年三月十三日午後三時三十分頃

一 処 置

一 横浜市神奈川区三ツ沢町三ツ沢共同墓地

記

一 横浜市保土ヶ谷区長取扱

一 本籍、住所、氏名

一 不詳

一 性 別

一 男性、推定年令五十才位

一 死亡年月日

一 昭和二十七年三月十五日午後十時頃

一 推定

一 死亡場所

一 横浜市保土ヶ谷区岩崎町四十番地先道路

一 死 因

一 青酸加里服毒自殺

一 人 相

一 丈五尺一寸、丸顔、耳がやや大きい、頭髪長く、中肉

一 特 徴

一 左手首に桃の入墨

一 着 衣

一 茶コールテンジャンパー鼠色の毛ズボン、薄茶のズボン下、肌着メリヤス、白ワイシャツ、紺の足袋、緑色鼻緒女下駄

一 検視の時

一 昭和二十七年三月十六日午前十時〇分

一 発見日時

一 昭和二十七年三月十六日午前八時頃

一 処 置

一 横浜市神奈川区三ツ沢町、三ツ沢共同墓地

記

一 鎌倉市長取扱

一 本籍、住所

一 不詳

一 氏 名

一 不詳、男性

一 推定年令

一 三十五、六才

一 変死年月日

一 昭和二十七年三月二十六日

一 変死場所

一 鎌倉市山の内一、五一七番地畠内

一 死 因

一 服 毒

一 所持金及所持品

一 七拾八円、ヅツク製靴一個、アルマイト弁当箱、タオル一枚、風呂敷一枚

記

一 神奈川県中郡北秦野村長取扱

一 氏 名

一 不詳

一 年 令

一 男性、四十才前後

一 族称、職業

一 労働者風

一 住 所

一 不詳

一 本籍地

一 不詳

一 救護を始めた年月日及病名

一 昭和二十七年一月十四日、変死体死亡又は発見の年月日時及死因

一 死亡の日時

一 昭和二十六年十月中旬頃と推定

一 発見 昭和二十七年一月十四日

一 相 貌

一 丈一、五六米位、中肉、顔面丸型、頭髪長く、顔は蓋黒色腐爛状態にて將に白骨化せんとしある為め詳細なる人相推定困難なり。

一 衣 類

一 綿の霜降り表、裏地かいきねず色上着、紺サージ背広、同ちよき、同ずぼん三つ揃、白木綿のワイシャツ、ネクタイ赤の細縞入水色、白木綿のランニング、白のズボン下、ラクダ色毛編ズボン下、カアキ色巻脚絆、青色木綿靴下、黒短靴

一 遺留物件

一 百円紙幣三枚、拾円紙幣九枚、五円硬貨一枚、カルモチン錠六〇錠位、腕時計一個、安全かみそり一組、丹頂チツク一個、鏡一個、黒ごむくし一枚、くつへら一個、竹のパイプ一個、木札(サクラ十九と記入あるもの)一枚、たばこ新生九本、まつち一個、パン券七枚で十九食、神奈川県地図一枚、風呂敷(エビ茶色)一枚、小型風呂敷(ちりめん)一枚、雑のう一個(すつく製)

一 死亡の場所

一 中郡北秦野村大字戸川字白向山林中仮埋葬年月日

一 昭和二十七年一月十四日

一 埋葬の場所

一 中郡北秦野村戸川宝泉院墓地

一 参考

一 変死人の身元調査に参考となる所持物、本人の上衣に加藤とある服のネームあり、木札に東京市本郷区春木町一の一三五、加藤好子とあり。